

ゼミ活動報告 「H25 年度クリスマス会兼忘年会」

氏名 橋詰 悠生

外ではイルミネーションが燦々と光を放ち、街で見かける子供たちの声もいつもより少し弾んで聞こえる…そんなクリスマスを1週間後に控えた12月18日の夜。心齋橋 café garb にてクリスマス会兼忘年会が開催されました。僕たち四期生は当然ながら初参加。大きな高揚感と少しの緊張感を胸に当日を迎えました。

クリスマス会は一年を振り返るムービーから始まり、10大ニュース、流行語の発表と進んでいきました。ほんの1月前に宮川ゼミの一員となった僕たち四期生には、残念ながらそれら多くの思い出を共有することは出来ませんでした。それでも宮川ゼミの和気藹々とした雰囲気を感じ取る事が出来、自分たちもそんなゼミの一員となったことを改めて嬉しく思ったものでした。来年は、ノミネート出来るようにいい意味でインパクトを残していきたいですね。

次に行われたのはプレゼント交換。手元に回ってきたプレゼントを開ける瞬間のドキドキ・ワクワクは、20歳を目前にしても、子供の時のそれと何ら変わらないものでした。ちなみに僕は、八木君からコシヒカリを頂きました。彼のプレゼントチョイスの秀逸さには脱帽です。一緒に添えられていたメッセージ『水加減が命です』を胸に刻み、おいしいご飯を炊きたいと思います。

プレゼント交換を終えると次はいよいよ各期生によるレクリエーションの時間。順番は3→4→2期生の順番で行われました。3期生、2期生ともクオリティーが高く、また凄くユーモアに富んでいて、たくさん笑わせていただきました。その中でも特に最後に出てきた謎の集団のパフォーマンスには、2013年下半期で1番くらいの笑いを頂きました。そんな先輩方のレベルの高さに圧倒されながら、僕たち4期生はPerfumeと大喜利、そしてパヤシ君ソロによる億千万をやりました。女性陣のPerfumeは良かったですね。その中でも、ありすの怒りだす演技はもうオスカーを狙える域にあったのではないかと思います。男性陣のPerfumeは何とコメントすべきか…。大喜利はなかなかチャレンジ企画だったのですが、先輩方のご協力もあり、盛り上がりを見せたのでホッとしています。最後のパヤシ君は、安定感の3文字に尽きます。用意していた曲の音量が小さいというトラブルも、アドリブで乗り切る彼はさすがでした。



楽しい時間が過ぎるのは早いもので、大いに盛り上がったクリスマス会もあっと言う間に時間が過ぎて、気が付けば宮川先生のお言葉でフィナーレを迎えていました。そして2013年最後のビッグイベントは盛況のうちに幕を閉じました。クリスマス会を通して、改めてこのゼミで時間を過ごすのが楽しみになり、また先輩たちの姿を見ていると、来年は自分たちも頑張らなければ、という気持ちになったのを覚えています。2013年も残りわずか。皆さんはどのように過ごされますか？終わり良ければすべて良し。みなさんが素敵な年末をお過ごしになることを祈ってやみません。そして素敵な新年を迎えましょう。それでは皆さんよいお年を!!

